

清田区民シニアスクール 教育サポート報告

若松 幹男

1. タイトル：「支笏火山と清田の火山灰」
2. 日 時：平成 21 年 8 月 19 日（水） 10:45～12:20
3. 場 所：三里塚小学校（里塚 2 条 6 丁目） 3 F 会議室
4. 参 加 者：生徒 20 名 センター職員 1 名
サポーター 1 名（小学校近傍に住む若松の囲碁仲間）
5. 配布資料：4 枚（A4）
支笏火山のでき方、支笏火山噴出物分布図、札幌周辺の地史

6. 内 容：

プレゼンテーションはパワーポイントを使って行いました。

話の内容は、序論、本論、結びに分れます。

・序論

自己およびサポーターの紹介を行った後、若松が 6 月に見物してきました「ナイヤガラ
の滝」の写真、その地理的・地質的背景やバンクーバーからの帰りに受けた航路変更とい
う迷惑を受けた千島列島まつや 7 島におけるサリチェフ火山噴火を紹介し、短い旅であつ
ても、色々な地質現象に遭遇するものだという趣旨の話をしました。

次いで、支笏火山を理解するうえで必要と考えられる地球の構造とその成り立ち、火山
の種類と分布、日本のようなプレート沈み込み帯にある火山の仕組み、噴出物の種類など
について解説しました。

・本論

5 万 5 千年前、4 万年前に噴火した支笏火山やその噴出物の広がり、その後に噴火した後
カルデラ火山（風不死岳、恵庭岳、樽前山）の噴火史や構成、地形的特徴をポンチ絵、復
元図、地形図、地質断面図などを使って説明しました。ついでに、現在、若松がガイドを
行っている「苔の洞門」の紹介などもしました。

生徒達が住んでいる清田地区は、支笏火山噴出物（支笏火砕流堆積物、いわゆる火山灰）
が分布していますので、その分布範囲やボーリングデータ、物性などを紹介するとともに、
火山灰の盛土、埋め土は、流水で浸食されやすく、地震時には液状化しやすい不安定な地
盤であるため注意しなければならないことなどを話しました。また、清田地区における火
山灰の埋め土の分布位置なども紹介しました。

・結び

支笏湖に関するよもやまばなしを紹介した後、若干の質問を受けました。

質問には、支笏湖の魚の話や川の出入口のこと、清田の火山灰の安定性についてなどが
ありました。

7. 感想

最初に、プロジェクターとコンピューターのコードの接続に手間取り、もし、接続が不能ならば、講義をどのように進めたら良いのかという不安がよぎりました。センターの方に取り説をさがしてもらい、何とか処理をすることができましたが、講師によっては、プロジェクターの扱いに不慣れな方もいるでしょうから、できることなら、センターの方がプロジェクターの扱いに慣れていて欲しいものです。

生徒は皆さん紳士淑女で、いたずらに私語を発することもなく、講師の話に笑いや相づちを交えながら最後までついてきてくれました。お陰さまで、楽しく気持ちの良い講義をすることができました。有難うございます。

来年も新しい生徒の方々に教える機会があれば嬉しいなと思いつつ校舎をあとにしました。

